

# オシャレな子供 勢揃い

西宮市池開町の武庫川女子大学付属幼稚園(大江嘉雄子園長)で21日、年長組の園児ら21人のデザイン画を基に、武庫川女子大学生生活環境学科と短期大学生生活造形学科の学生ら44人が作った服を披露する「キッズドリームウェア ファッションショー」があった。【山本未来】

## 西宮でファッションショー

園児が服をデザインし、学生が製作する取り組みは、2012年から幼稚園と大学で取り組んでいるが、ファッションショーは今回が初。「特別な日に着たい服をテーマに、園児らは、家族でキャンプに行く時やフライングに行く時などに着たい服を、色とりどりの油性ペンで描いた。その絵を基に、一人の園児に対して、学生が一人、数人のグループに分かれて担当し、園児と話しながら具体的なデザインを作り上げた。採寸やサンプル作成、試着などを経て、約半年かけて完成させた。

## 武庫川女子大生ら製作 付属園児がデザイン



自分たちで描いたデザイン画を基に、大学生が作った服を着てランウェイを歩く園児ら —西宮市池開町の武庫川女子大学付属幼稚園で

「わけてランウェイを歩き、学生といっしょにポーズを取ると、保護者らから大きな拍手が送られた。」  
「キーキ屋さんに行く時に着たい服」を描いた伊藤紬さん(6)は「キーキみたいな帽子とエプロンが好き。これを着てケ  
「キーキ屋さんに行く」と目を輝かせた。製作を担当した武庫川女子大3年、野上采加さん(21)は「紬ちゃんの絵になるべく忠実に、さらに良いものになるように、さらに良いものになるように、さらに良いものになるように」と話した。